

立神峡里地公園だより

活動報告

野外で米粉料理 第1回 米粉のホワイトソースでドリア作り

10月27日、立神峡公園において、野外で米粉料理の第1回目「米粉のホワイトソースでドリア作り」を行い、3人の参加と1組のご夫婦の見学がありました。

米粉を使ったことはあるが、ホワイトソースを作ったことがない参加者に、材料を計量することから始め、冷たいままの牛乳に米粉を投入し、泡立て器で「だま」が無くなるまで溶いてもらいました。その後、フライパンに移し火に掛け、とろみが出るまで混ぜてもらい、味付けをして完成。

竹の器にトマトソースを入れ、ホワイトソース、チーズの順に乗せて、ダッチオーブンで焼くこと10分。おいしそうな焦げ目が付いたドリアの出来上がり。片付けを早々に行い、ウッドデッキに集まり皆さんでいただきました。「とてもおいしかった」とお褒めの言葉をいただき、うれしく思います。次回の米粉ピザが楽しみです。



▲おいしく出来るかな～？



▲米粉のホワイトソース

田んぼの学校 東陽小学校〈脱穀〉

11月7日、東陽小学校児童による、田んぼの学校の最終工程「脱穀」を行いました。今年は運が良い事に、イノシシと害虫の被害もほとんど無く、例年に比べかなりの収穫量となりました。青空の下で脱穀を行いたかったのですが、あいにくの雨ということもあって、里地屋敷の母屋内で行いました。

一人2束ずつ稲穂を納屋から母屋へ運び、1束は千歯こきに、もう1束は手や割り箸ですいたり、にぎやかな脱穀になり、自分たちで田起こしから頑張ったもち米を、きれいに粒を残さないように、慎重に作業を行っていました。束から解いてしまい、片付けが大変でしたが、互いに協力し合い、あっという間に片付けていました。足踏み脱穀機も見学し、「唐箕(とうみ)」を使用した時は、目を見開いて興味津々のまなざしでした。

約1年を通しての作業でしたが、今と昔の違いをしっかりと感じてくれたことと思います。さまざまな工程を機械が行う時代ですが、古くからの作業を体験する事の、大事さを感じる田んぼの学校でした。



▲一粒も残さないようにするのは大変



▲頭いいな～

イベント情報

ミニ門松作り

早いものでもう師走、そろそろお正月準備の時期ですね。立神峡公園では、公園内にあるモウソウダケやホウライダケを使って、室内用ミニ門松を作ります。お正月に手作り門松を飾って、新年を迎えませんか。

- ◆日時：12月7日(土) 10時～12時(9時30分～受付)
- ◆場所：立神峡公園管理棟
- ◆定員：5組(10人程度)
- ◆参加費：1組 500円(1対)
- ◆準備物：軍手、飾り物(必要な人のみ)

パート・スタッフ募集

- ◆募集人員：1人(土・日・祝日勤務可能な人)
 - ◆給与：日給5,600円(時給700円)
 - ◆勤務時間：8時30分～17時30分(週3～4日程度)
 - ◆勤務内容：来園者・宿泊者対応、宿泊施設の予約受付、公園内施設の清掃
 - ◆資格：パソコン(ワード・エクセル)で簡単な事務作業ができる人
 - ◆応募方法：履歴書を郵送または持参してください
- 問 立神峡公園管理組合 坂田

お問い合わせ・お申し込み先
立神峡公園管理組合 ☎62-1543 tategamikyou@yahoo.co.jp (8:30～17:30 火曜定休日)

町民文芸

短歌

- 年金の受給を祝い二人旅
菊池水源組む腕悴む
法道寺 本田 花風
- ひよどりに庭菜つつかれ埒もなき
愚痴をぶつぶつ吾に言う妻
北野津 宮本 末秋
- 高々と木犀の花咲きて葉の
影重さね大屋根を覆ふ
高塚 桑原ゆき代
- 日舞ありフラダンスありコーラスも
ありて華やぐ文化の祭り
吉本 高橋 澄子
- 天草の浜を歩けば潮騒の
音に浮かぶや白き貝殻
西野津 古崎スエノ
- 忌の席の故人偲びて天仰ぐ
僧の装の眩しかり
南鹿野 尾崎 京子
- 気配りの無き運転を見るに付け
事故の減らぬは尤な事
吉本 橋村 正之

俳句

- 山茶花の垣根続くこの道を
走り抜ければ海の輝き
西野津 古崎 栄子
- あす行くかういの奥山紅葉狩
あさき夢みし我が人生よ
高塚 竹中 力
- 残り世は見えない風に添いゆくか
葉陰に光る慈悲をみつめて
桜ヶ丘 宮崎敬四郎
- くまモンのアートの稲田刈り惜しむ
北野津 宮本 末秋
- 蒲公英は庭にふえるや返り咲き
高塚 桑原ゆき代
- 窓越しに拝む月影十三夜
吉本 高橋 澄子
- 焼き栗の列に加わる観音寺
西野津 古崎スエノ
- 湯船には今日の終りの感謝あり
南鹿野 尾崎 京子
- 長き夜のペンの進まぬ句帳かな
西野津 古崎 栄子
- 祖父植えし朱欒の重き地に近し
町 香山菊童子
- 稲架かけし棚田広がる日和かな
町 香山セツ子
- 紅葉狩登って来いよ猪とれた
高塚 竹中 力

町会議員選挙

来し方を束ねて憶う葛湯かな
桜ヶ丘 宮崎敬四郎

懐かしや紅葉便りのいろは坂
桜ヶ丘 吉田 照子

柿のれん存念つなく絆かな
町 田中 澄子

たたずめば黄金色なす石露の花
桜ヶ丘 宮崎トシ子

十二議席に我こそは
名乗りを挙げた各候補
与えられたる五日間
町内隅無く駆け巡る
十五台から十五色
うぐいすレデイの呼び掛ける
連呼の声もそれぞれで
楽しく聞いた此の五日
意中の候補が来たようだ
何にはともあれ顔出して
声掛け握手し激励だ
後は勝利を祈るのみ

吉野地区より出馬無く
各陣営の草刈場
地縁血縁伝手たどり
御苦労された事だろう

吉本 橋村 正之

一九六〇年代を想いつつ

未だ青春と叫ぶのは気分と表現の世界だけ。
働けば豊かな時代もあった。
若者たちの青春と愛を奏てる日本の歌
も心地よく聞こえてはいた。
今、年輪の数とともに彼らメッセジャー
の奏てる歌も折につけわが青春の風景
が甦り、想いを綴るも深夜の楽しみ。
消しては書き、消しゴムとノートがい
ないテクノロジー、ボタンを押せば大河の
源流のごとく活字が湧き出でる。「乾
坤一擲」の四文字熟語と出会ったのはこ
の年にして初めてのこと。
読めと言われれば発想遅しく、ケンコン
イッテキ、読む者もいるだろうが書けと
言われて、スバツと書けるのはクイズ番
組の常連ぐらいたらう。
おかげさまで老兵にとってパソコンは言
葉の泉である。六十年代の青年期を彷彿
した時代を振り返りつつ今を生きる
者として、「青春とは人生のある期間で
なく、心の持ち方である」という言葉に
今更ながら実感する。

投稿いただきました作品は、短歌・俳句それぞれ一句とします。必要な場合は、ルビを付けてください。
また、確認のためお電話することもありますので、連絡先の記入をお願いします。